

## 丹波竜から学ぶふるさと丹波

丹波市では市内の6年生全児童が丹波竜の発見場所近くの



「上久下ふるさと元気村」、丹波竜化石工房「ちーたんの館」を訪れ、発掘体験や理科学習「大地のつくり」の学習の一環として丹波竜を通じたふるさと学習を行ってきました。しかしここ数年はコロナ禍により一斉の現地見学は中止となっています。

そこで、恐竜課の朝永エドゥケーターにお越しいただき、6年生が丹波竜を通して「丹波市の大地のつくり」について学習を深めました。

地質図を見せていただきながら、丹波市は海が隆起してできた地層・岩石と火山活動でできた地層に分かれるとの説明や丹波竜発見当時の話など、子どもたちは市内で発見され、今も新たな発見がある恐竜化石などに興味津々でした。また、様々な

岩石や化石のレプリカなどを手にしながら疑問に感じたことを尋ねる姿も見ることができました。

現在、丹波市のフィールドを活かした「ふるさと教育展示会」



として各校のふるさと教育の取組が恐竜フェスタの行われる山南住民センターに展示してあります。また年明けには水別れフィールドミュージアムで展示会が開催されます。本校からは、3年生が酒造会社と一緒に取り組んだ米(酒米)作りと生き物調査のまとめを展示します。こうした取組がふるさと丹波を愛し、地域に誇りを持てる子どもたちの育成になればと考えています。

